

全日本軟式野球連盟公認学童コーチ養成講習会カリキュラム(2021年2月改訂)

養成目的	都道府県の登録学童チームにおいて、次世代を担う学童部競技者が、野球に親しみ、安心して競技力を向上させながらスポーツ障害などに悩まされることなく競技にあたることができるようにする。
役割	軟式野球競技のすそ野を支える学童部の指導者として、スポーツ障害予防に努めて競技者の健全な成長を支えるとともに人間力を育むこと。
受講条件	受講年度の4月1日現在満18歳以上で、全日本軟式野球連盟登録チームやスポーツクラブ、スポーツ少年団等において軟式野球競技の指導にあっている者。または指導者になろうとしている者で、全日本軟式野球連盟の承認を得た者(免除条件については別途定める)。
カリキュラム	専門科目 6h (基礎理論: 5h・実技: 1h)
受講料	オンデマンド講習会: 4,000円(税込)(設計中) 都道府県支部講習会: 主催支部により定める
登録料(4年間)	2,000円(税込)
更新研修	資格有効期限が切れる6か月前までに、最低1回は、全日本軟式野球連盟が定めるリフレッシュ研修を受けなければならない。

区分		学童コーチカリキュラム内容		時間数
1	基礎理論	①	スポーツマンシップ	1h
		②	「ティーチング」と「コーチング」	1h
		③	体罰・暴力・ハラスメントの根絶	1h
		④	リスクマネジメント/安全管理	1h
		⑤	指導者に必要な医学的知識	1h
		小計		
2	実技	①	正しい投動作の指導	1h
		小計		
合計				6h

※論文の提出は廃止となりました。